

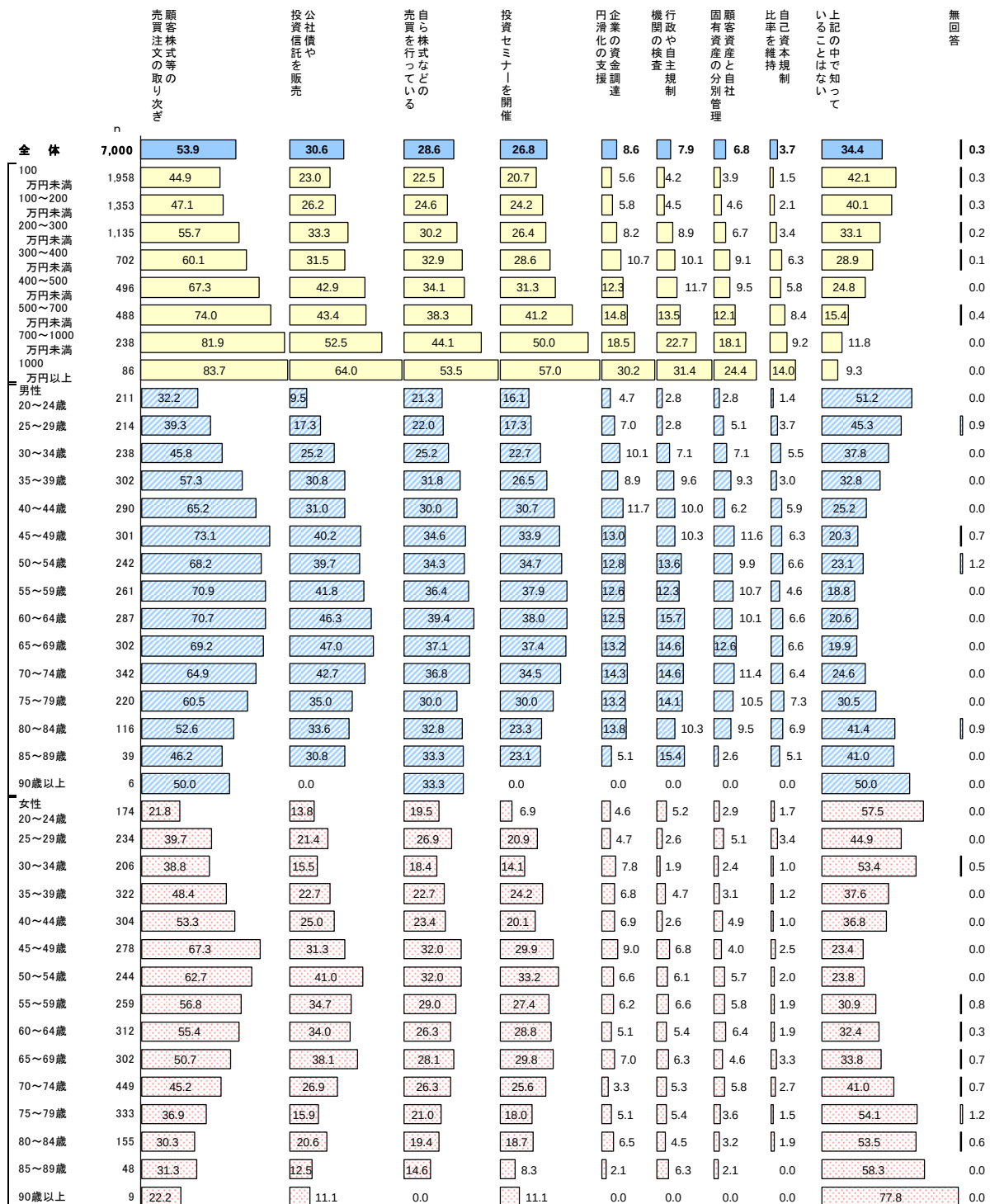
4. 証券会社

- (1) 「証券会社」に関する認知事項（問 26）
- (2) 証券会社のイメージ（問 27）
- (3) 証券会社との取引状況（問 28）
- (4) 現在取引している証券会社数（問 28）
- (5) 特定口座を開設している証券会社数（問 28）
- (6) 取引している証券会社の選択理由（問 29）
- (7) 証券会社との主な取引方法（問 30）
- (8) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（問 31）
- (9) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（問 32）
- (10) 【証券会社と取引未経験者】証券会社との取引開始の条件（問 33）

(1) 「証券会社」に関する認知事項（問 26）

- 証券会社について知っていることを尋ねたところ、「顧客の株式など売買注文を証券取引所に取次いでいる」が 53.9%と最も高く、次いで「公社債や投資信託を販売している」（30.6%）、「自ら株式などの売買を行っている」（28.6%）、「投資セミナーを開催している」（26.8%）が上位に挙がった。また、「（上記の中で）知っていることはない」は 34.4%となった。
- 年収別でみると、いずれもの項目も、年収が高いほど認知率が高まる傾向がみられた。
- 性・年代別でみると、「顧客の株式など売買注文を証券取引所に取次いでいる」は男女とも 45～49 歳で最も高い。

図表 4-1 「証券会社」に関する認知事項（複数回答）（問 26）／年収、性・年代別



- 各事項の認知率が最も高いのは京浜となった。また、都市規模が大きいほど、認知率が高くなっている。

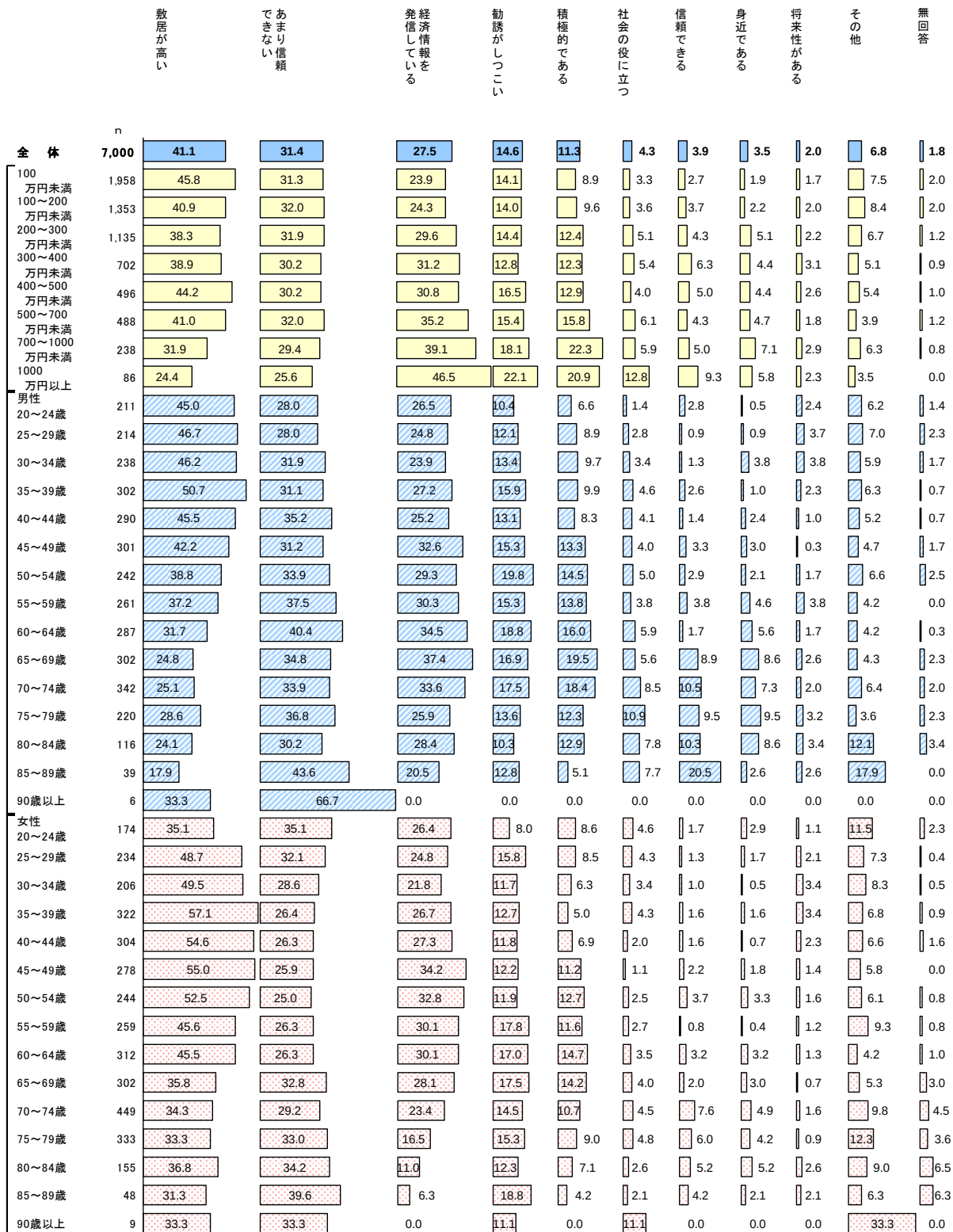
図表 4-2 「証券会社」に関する認知事項（複数回答）（問 26）／地域・都市規模別

		顧客株式等の 売買注文の取り次ぎ	公社債や 投資信託を販売	自ら株式などの 売買を行っている	投資セミナーを開催	企業の資金調達 円滑化の支援	機関の検査 行政や自主規制	顧客資産と自社 固有資産の分別管理	自己資本規制 比率を維持	上記の中で知って いることはない	無回答
全 体	7,000	53.9	30.6	28.6	26.8	8.6	7.9	6.8	3.7	34.4	0.3
北海道	322	47.2	30.4	25.5	19.3	5.3	5.3	3.1	2.2	38.8	0.3
東北	518	41.5	22.8	22.8	18.1	7.5	4.1	4.6	3.3	44.4	0.4
関東	1,540	57.3	34.1	29.2	31.9	9.6	9.6	8.8	4.2	30.9	0.3
京浜	812	66.5	38.4	39.2	34.7	11.9	12.1	10.5	5.5	22.9	0.1
甲信越	294	50.0	24.5	19.0	21.8	6.5	6.5	5.8	3.4	42.9	2.0
北陸	168	54.8	29.2	23.8	25.6	8.3	6.0	8.3	3.0	39.3	0.0
東海	812	56.4	32.6	32.3	25.6	8.7	8.1	5.9	3.3	31.9	0.0
近畿	686	53.4	30.3	31.5	27.1	8.0	7.6	6.7	3.6	33.2	0.3
阪神	462	58.7	33.3	28.8	31.4	8.9	9.1	8.2	5.2	30.1	0.0
中国	392	55.9	30.4	26.0	27.3	9.2	6.6	5.1	2.8	31.9	0.3
四国	224	49.6	25.0	24.6	18.8	8.0	6.7	4.5	3.6	37.1	1.8
九州	714	42.6	21.3	22.5	18.6	5.7	4.8	2.7	1.4	46.8	0.1
沖縄	56	30.4	23.2	14.3	28.6	7.1	7.1	10.7	5.4	51.8	0.0
21大都市	1,988	60.9	35.8	33.3	30.8	10.3	10.0	8.1	4.0	27.8	0.2
15万人 以上の都市	2,156	55.6	32.1	28.8	29.1	9.1	8.7	6.6	4.1	32.7	0.3
5～15万人 未満の都市	1,722	49.7	27.6	25.8	24.5	8.2	6.9	6.7	3.5	39.0	0.4
5万人 未満の都市	490	45.5	22.2	26.9	19.0	6.1	3.9	3.5	3.3	41.8	0.2
郡部	644	44.3	23.6	22.0	18.5	4.3	4.5	5.7	2.2	42.2	0.5

(2) 証券会社のイメージ（問 27）

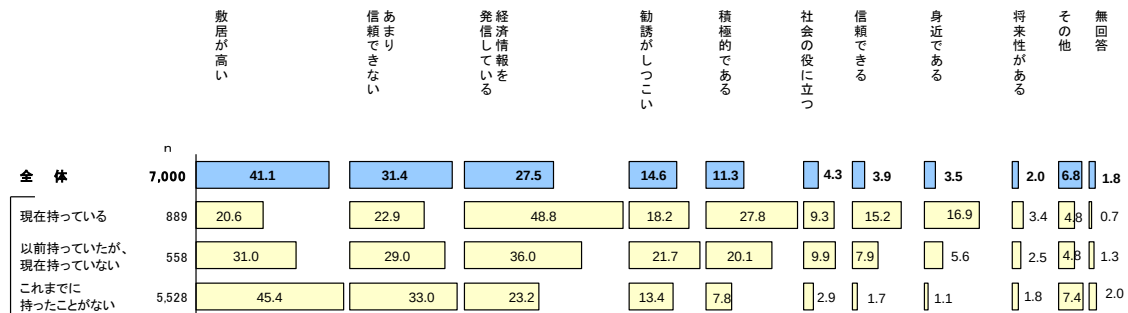
- 証券会社のイメージは、「敷居が高い」が 41.1%で最も高い。次いで、「あまり信頼できない」（31.4%）、「経済情報を発信している」（27.5%）と続く。
- 年収 1000 万円以上の層では、他の層と比べて「敷居が高い」が 24.4%と低く、「経済情報を発信している」（46.5%）、「社会の役に立つ」（12.8%）、「信頼できる」（9.3%）が高い。

図表 4-3 証券会社のイメージ（複数回答）（問 27）／年収、性・年代別

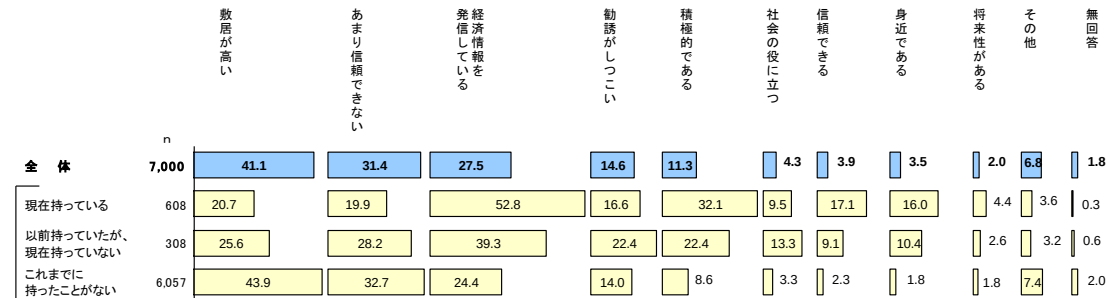


- 金融商品の保有状況別でみると、株式・投資信託・公社債の3種類に共通する特徴として、「これまでに持ったことがない」未保有層で「敷居が高い」などの割合が高く、「経済情報を発信している」、「積極的である」、「身近である」、「信頼できる」などの割合が低い。

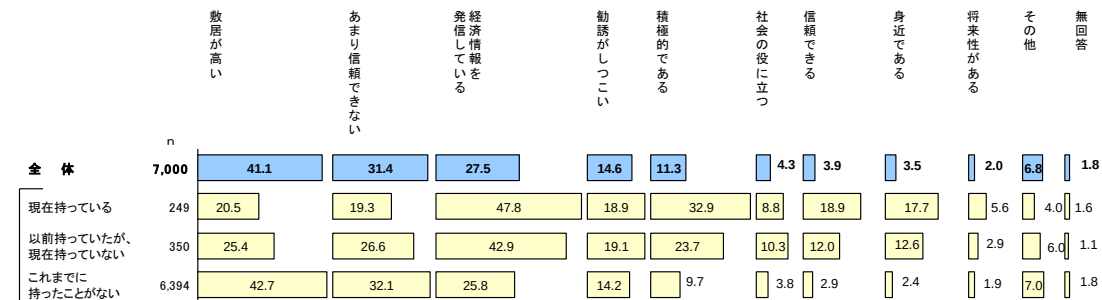
図表 4-4 証券会社のイメージ（複数回答）（問 27）／株式の保有状況別（問 35）



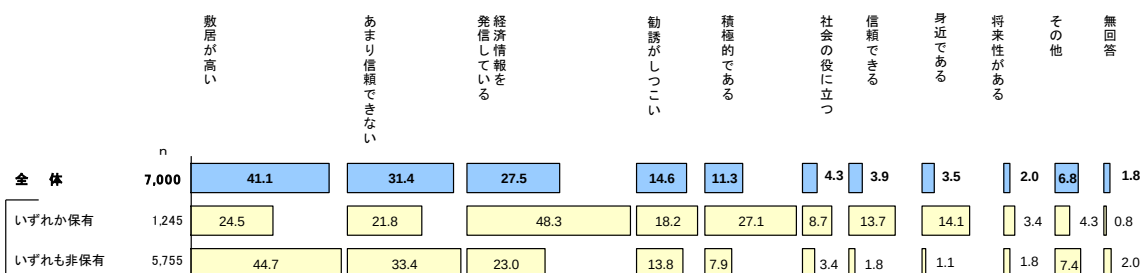
図表 4-5 証券会社のイメージ（複数回答）（問 27）／投資信託の保有状況別（問 41）



図表 4-6 証券会社のイメージ（複数回答）（問 27）／公社債の保有状況別（問 48）



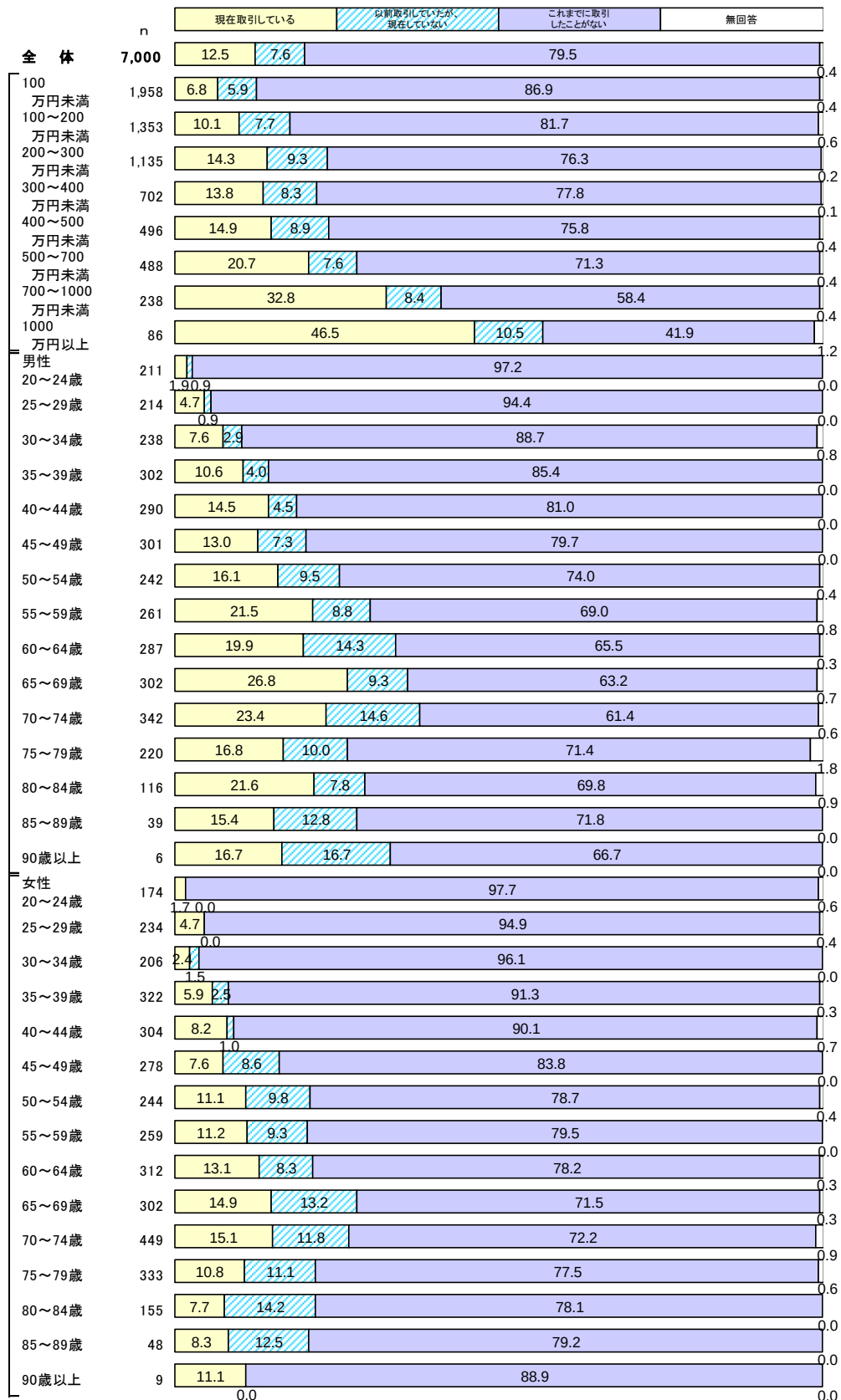
図表 4-7 証券会社のイメージ（複数回答）（問 27）／いずれかの証券保有（問 35・41・48）



(3) 証券会社との取引状況（問 28）

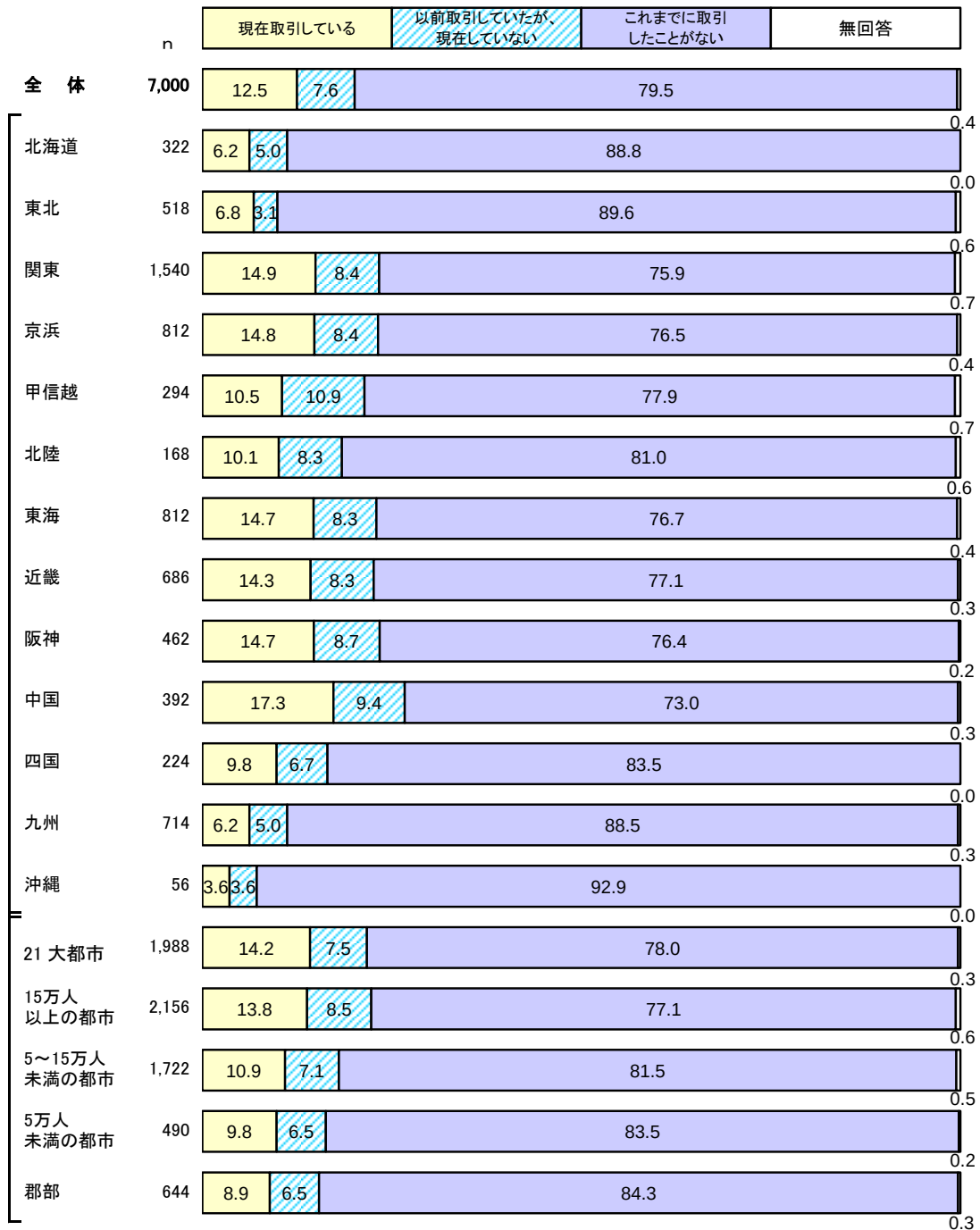
- 証券会社との取引状況をみると、「これまでに取引したことがない」が最も高く 79.5% である。また「現在取引している」（12.5%）、「以前取引していたが、現在していない」（7.6%）を合わせた証券会社との取引経験率は 2 割程度である。
- 「現在取引している」は年収が高いほど高い傾向となった。
- 性・年代別でみると、男女とも 65～74 歳で「現在取引している」の割合が高い。

図表 4-8 証券会社との取引状況（問 28）／年収、性・年代別



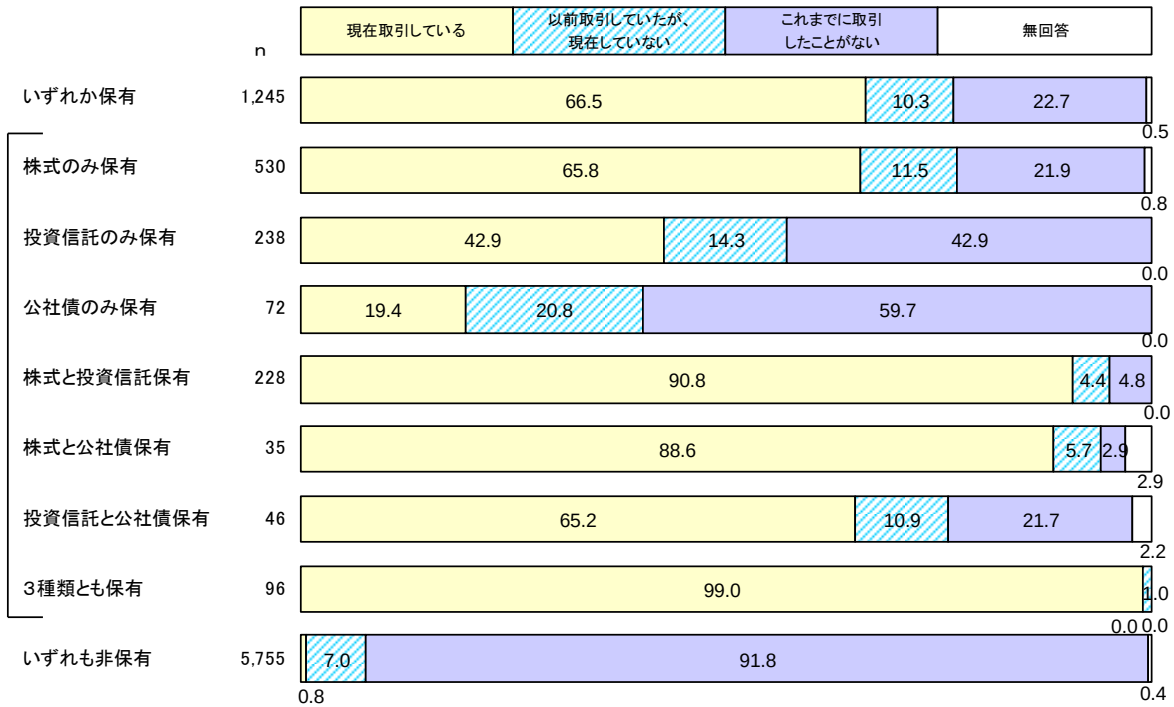
- 地域別でみると、「現在取引している」は中国が 17.3%で最も高い。次いで、関東 (14.9%)、京浜 (14.8%)、東海および阪神(14.7%)と続く。
- 都市規模別が大きいほど「現在取引している」が高い傾向である。

図表 4-9 証券会社との取引状況（問 28）／地域・都市規模別



- 証券の重複保有状況別でみると、「現在取引している」割合は、「3種類とも保有」、「株式と投資信託保有」、「株式と公社債保有」では8割以上となっている。

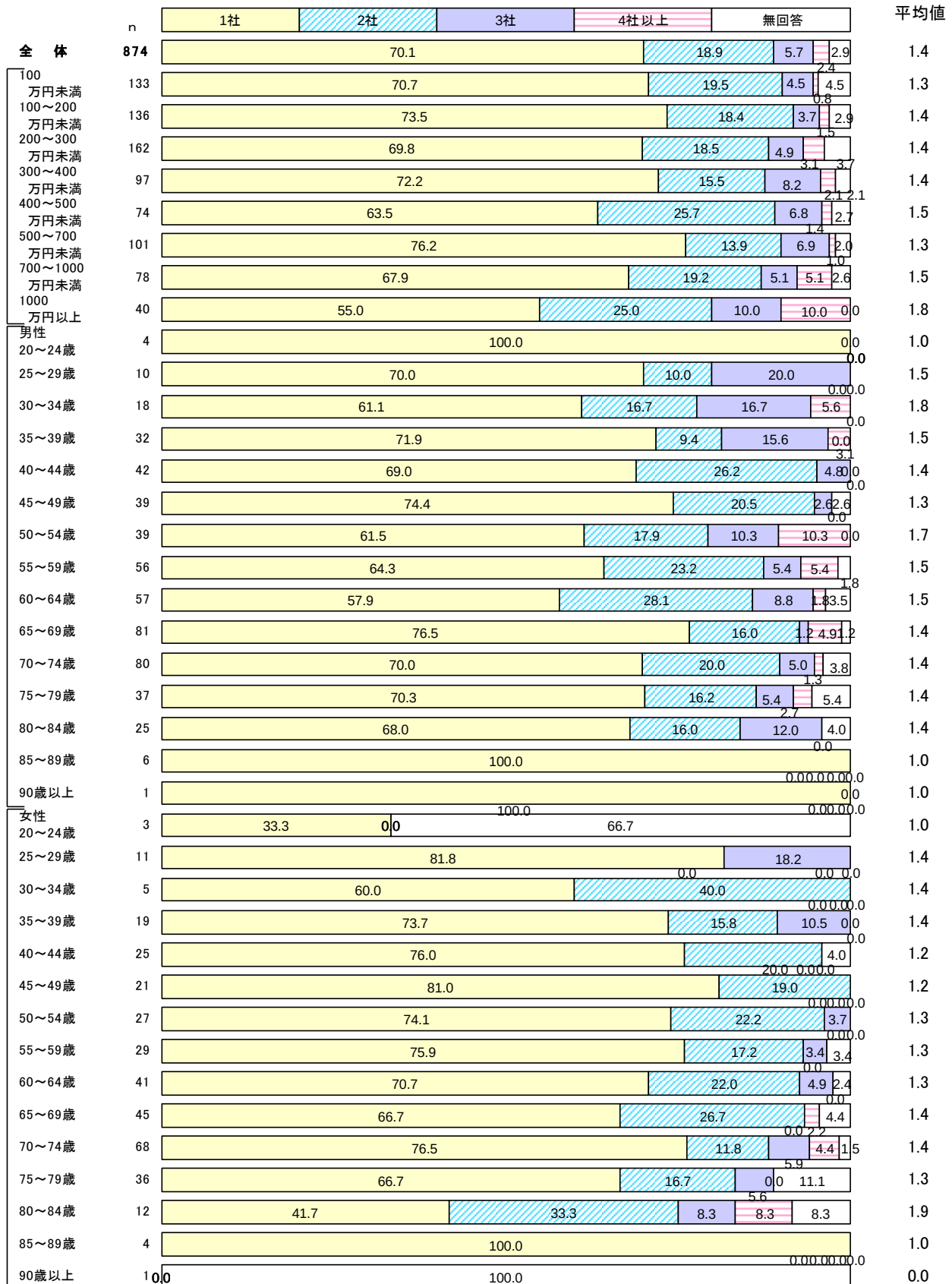
図表 4-10 証券会社との取引状況（問 28）／証券の重複保有状況別（問 35、41、48）



(4) 現在取引している証券会社数（問 28）

- 現在取引をしている人の取引証券会社数は、平均で 1.4 社であり、「1 社」と「2 社」で 9 割弱を占めている。

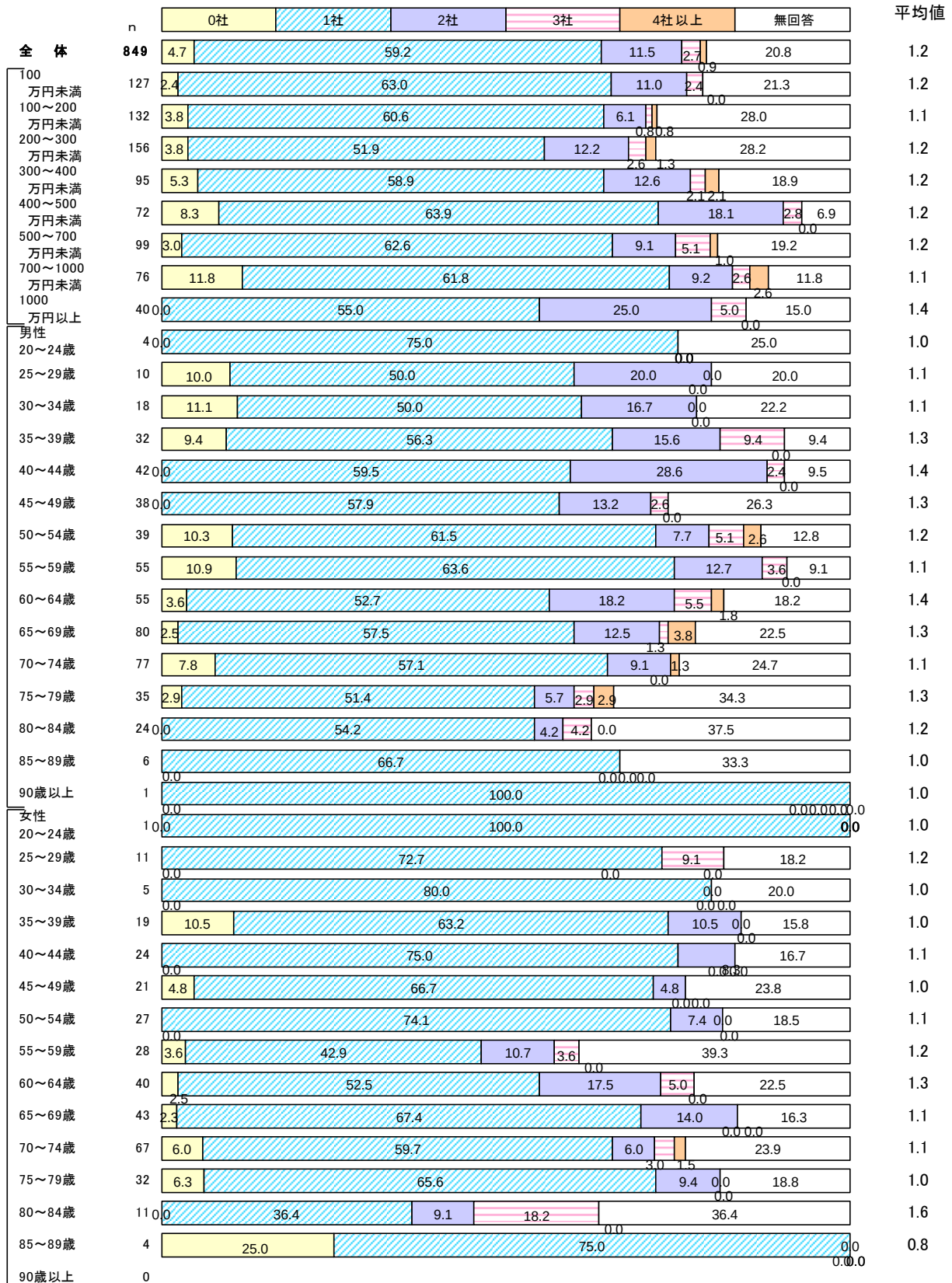
図表 4-11 現在取引している証券会社数（問 28）／年収、性・年代別



(5) 特定口座を開設している証券会社数（問 28）

- 現在取引をしている人に特定口座を開設している証券会社数を尋ねたところ、平均で 1.2 社であり、「1 社」と「2 社」で 7 割程度を占めている。

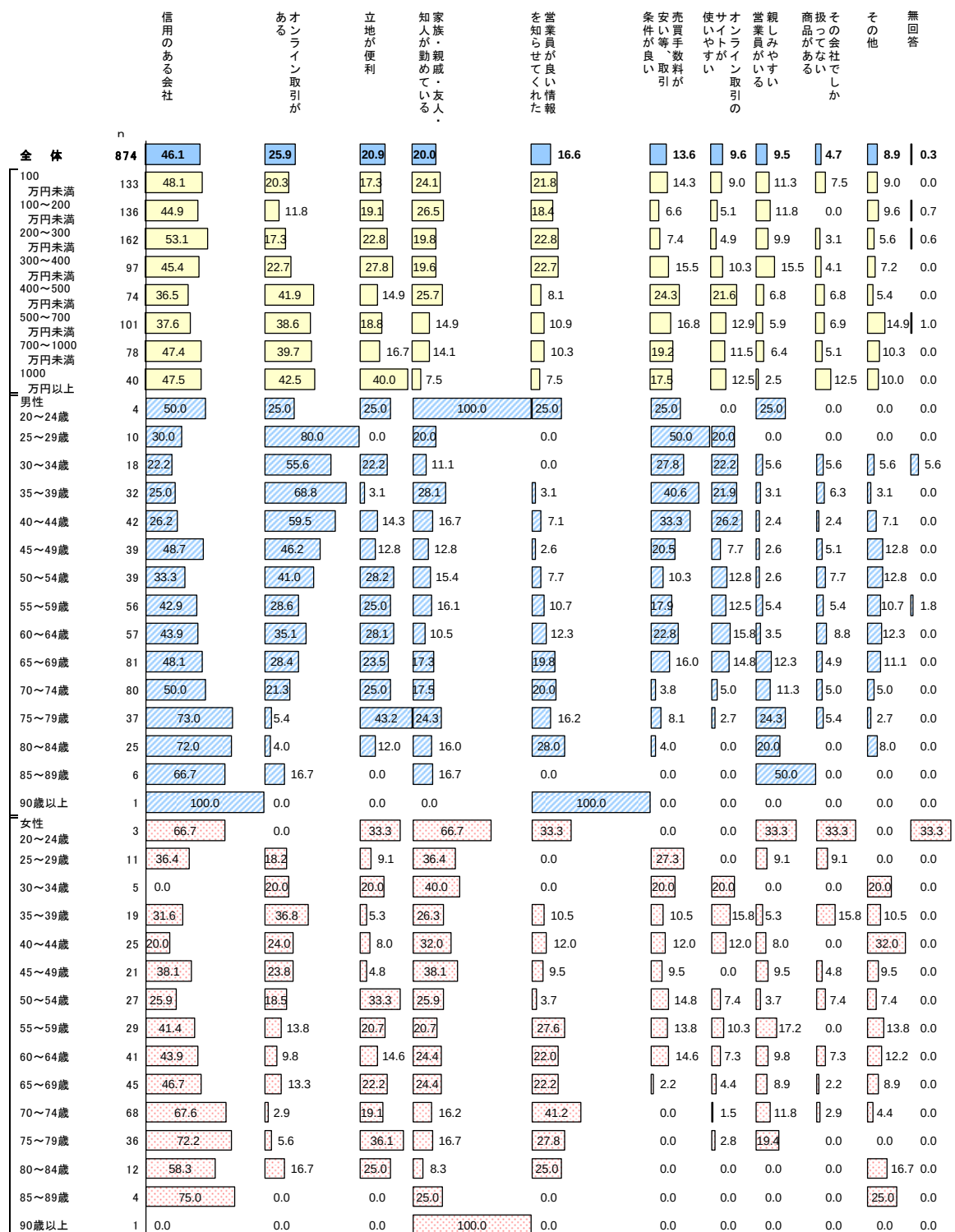
図表 4-12 特定口座を開設している証券会社数（問 28）／年収、性・年代別



(6) 取引している証券会社の選択理由（問 29）

- 証券会社と現在取引中の人に証券会社を選んだ理由を尋ねたところ、「信用のある会社だから」が 46.1%で最も高い。次いで「オンライン取引（インターネット取引）があるから」（25.9%）、「自宅や勤め先の近くにあるなど立地が便利だから」（20.9%）、「家族・親戚・友人・知人が勤めているから」（20.0%）と続く。
- 性・年代別でみると、「信用のある会社だから」は高年代で高く、「オンライン取引（インターネット取引）があるから」は若年層で高い。

図表 4-13 取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 29）／年収、性・年代別



- 証券の重複保有状況別でみると、保有証券に株式が含まれる場合は、「オンライン取引（インターネット取引）がある」と「売買手数料が安い（無料）など、取引条件が良かったから」の割合が高い。

図表 4-14 取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 29）

／証券の重複保有状況別（問 35、41、48）

		信用のある会社	ある オンライン取引が	立地が便利	家族・親戚・友人・知人が、勤めている	営業員がよい情報を知らせてくれた	売買取引条件がよい	オンライン取引のサイトが使いやすい	親しみやすい営業員がいる	その会社でしか扱っていない商品がある	その他	無回答
	n											
いずれか保有	828	46.3	25.7	21.0	19.7	17.1	13.5	9.1	9.8	5.0	9.2	0.1
株式のみ保有	349	41.0	33.0	20.1	20.6	7.2	15.2	12.0	6.0	3.4	9.5	0.3
投資信託のみ保有	102	53.9	6.9	15.7	25.5	25.5	9.8	1.0	9.8	5.9	6.9	0.0
公社債のみ保有	14	35.7	0.0	14.3	35.7	35.7	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0
株式と投資信託保有	207	47.8	28.5	28.0	17.9	16.9	16.4	11.6	12.1	5.8	9.2	0.0
株式と公社債保有	31	45.2	25.8	25.8	12.9	29.0	9.7	3.2	19.4	6.5	6.5	0.0
投資信託と公社債保有	30	53.3	6.7	10.0	10.0	43.3	3.3	0.0	10.0	3.3	16.7	0.0
3種類とも保有	95	53.7	23.2	17.9	16.8	30.5	11.6	7.4	15.8	8.4	10.5	0.0
いずれも非保有	46	43.5	28.3	19.6	26.1	6.5	15.2	19.6	4.3	0.0	4.3	4.3

- 株式購入のきっかけ別では、「インターネットで株式投資に関する記事を見て」株式購入をはじめた層では、「オンライン取引（インターネット取引）があるから」が79.5%と最も高く、次いで「売買手数料が安い等、取引条件が良いから」が42.2%、「オンライン取引のサイトが使いやすいから」が33.7%と続く。
- また、「NISAが始まって」、「株式投資を取り上げたテレビ番組を見て」および「新聞・雑誌で株式投資に関する記事を見て」株式購入をはじめた層も「オンライン取引（インターネット取引）があるから」が最も高くなった。

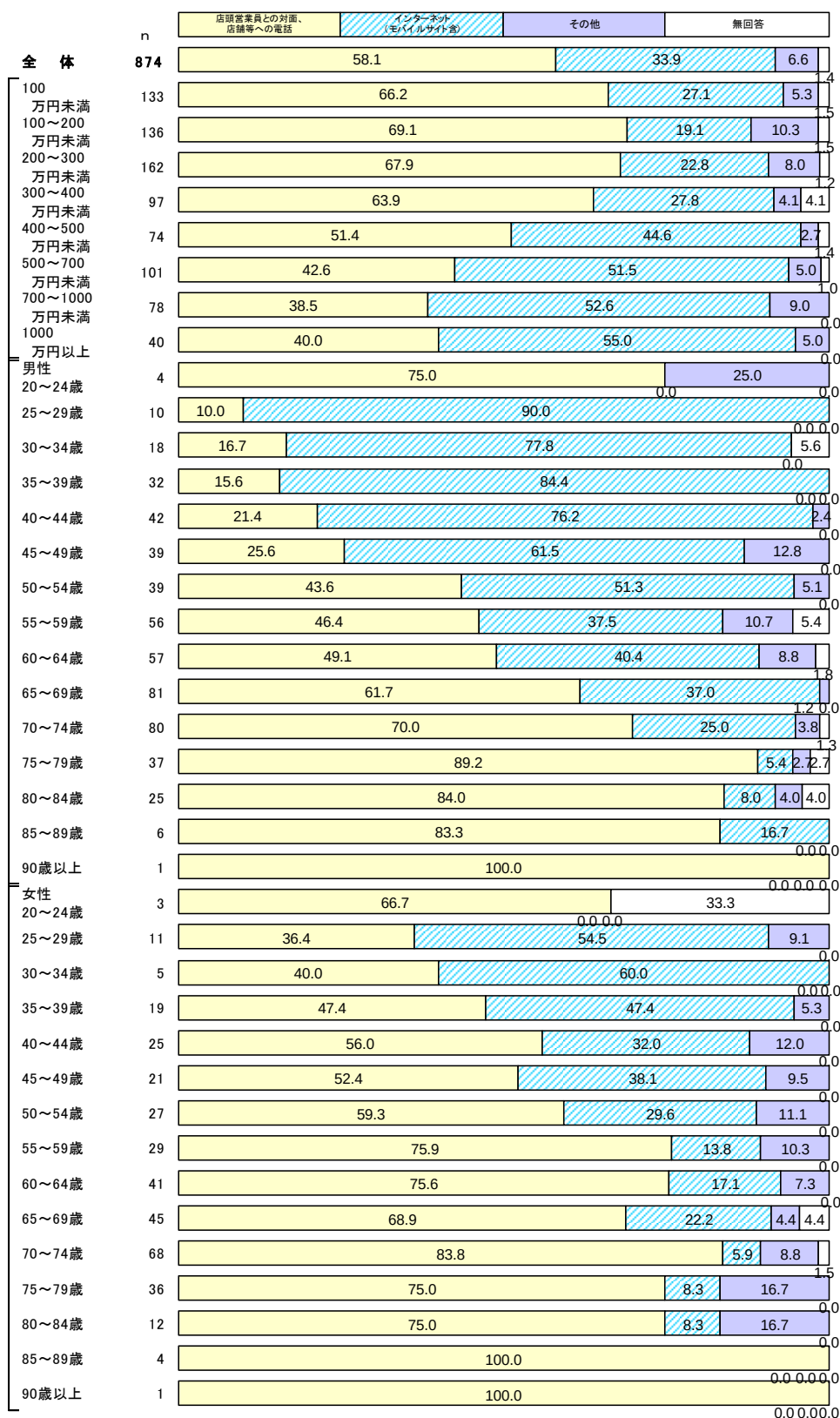
図表 4-15 取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 29）／株式購入のきっかけ（問 36）

		信用のある会社	オンライン取引がある	立地が便利	家族・親戚・友人・知人が勧めてくれる	営業員が良い情報を知らせてくれた	売買手数料が良い等、取引条件が良い	オンライン取引のサイトが使いやすい	親しみやすい営業員がいる	扱っていない商品がある	その会社でしか	その他	無回答
全体	767	46.3	27.9	22.0	19.2	16.4	14.0	10.6	10.0	4.7	8.7	0.1	
証券会社に勧められて	192	57.8	9.9	22.9	22.4	35.9	4.2	4.2	19.3	3.6	3.1	0.5	
銀行に勧められて	36	44.4	2.8	19.4	13.9	36.1	8.3	0.0	30.6	8.3	16.7	0.0	
家族・親戚・友人・知人に勧められて	250	43.2	22.4	18.4	40.4	16.0	12.0	9.6	9.6	4.4	3.2	0.4	
株式に関する講演会を聞いて	23	78.3	56.5	30.4	13.0	13.0	21.7	26.1	13.0	13.0	0.0	0.0	
まとまった資金ができて	150	49.3	42.0	28.0	18.0	16.7	25.3	18.0	10.0	6.0	6.7	0.0	
従業員または役員持株会などに加入	185	53.5	24.9	27.6	10.8	13.0	10.3	8.6	7.0	6.5	15.7	0.5	
株式投資を取上げたテレビ番組を見て	39	35.9	43.6	23.1	20.5	12.8	30.8	15.4	15.4	12.8	5.1	0.0	
新聞等で株式投資に関する記事を見て	118	44.1	47.5	32.2	9.3	12.7	25.4	19.5	10.2	8.5	5.9	0.0	
ネットで株式投資に関する記事を見て	83	28.9	79.5	10.8	10.8	3.6	42.2	33.7	6.0	8.4	0.0	0.0	
証券会社の広告・DMを見て	10	70.0	20.0	50.0	20.0	30.0	20.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0	
NISAが始まって	29	34.5	58.6	17.2	27.6	17.2	37.9	24.1	6.9	17.2	0.0	0.0	
その他	78	37.2	23.1	24.4	12.8	14.1	14.1	10.3	6.4	3.8	32.1	0.0	

(7) 証券会社との主な取引方法（問 30）

- 証券会社と現在取引中の人に主な取引方法を尋ねたところ、「店頭における営業員との対面または店舗などへの電話などにより取引をしている」が 58.1%に対し、「インターネット（モバイルサイトを含む）を利用して取引をしている」は 33.9%となっている。
- インターネット取引の利用率は、年収においては年収が高い人、年齢においては若い人ほど上昇する傾向がある。

図表 4-16 証券会社との主な取引方法（複数回答）（問 30）／年収、性・年代別

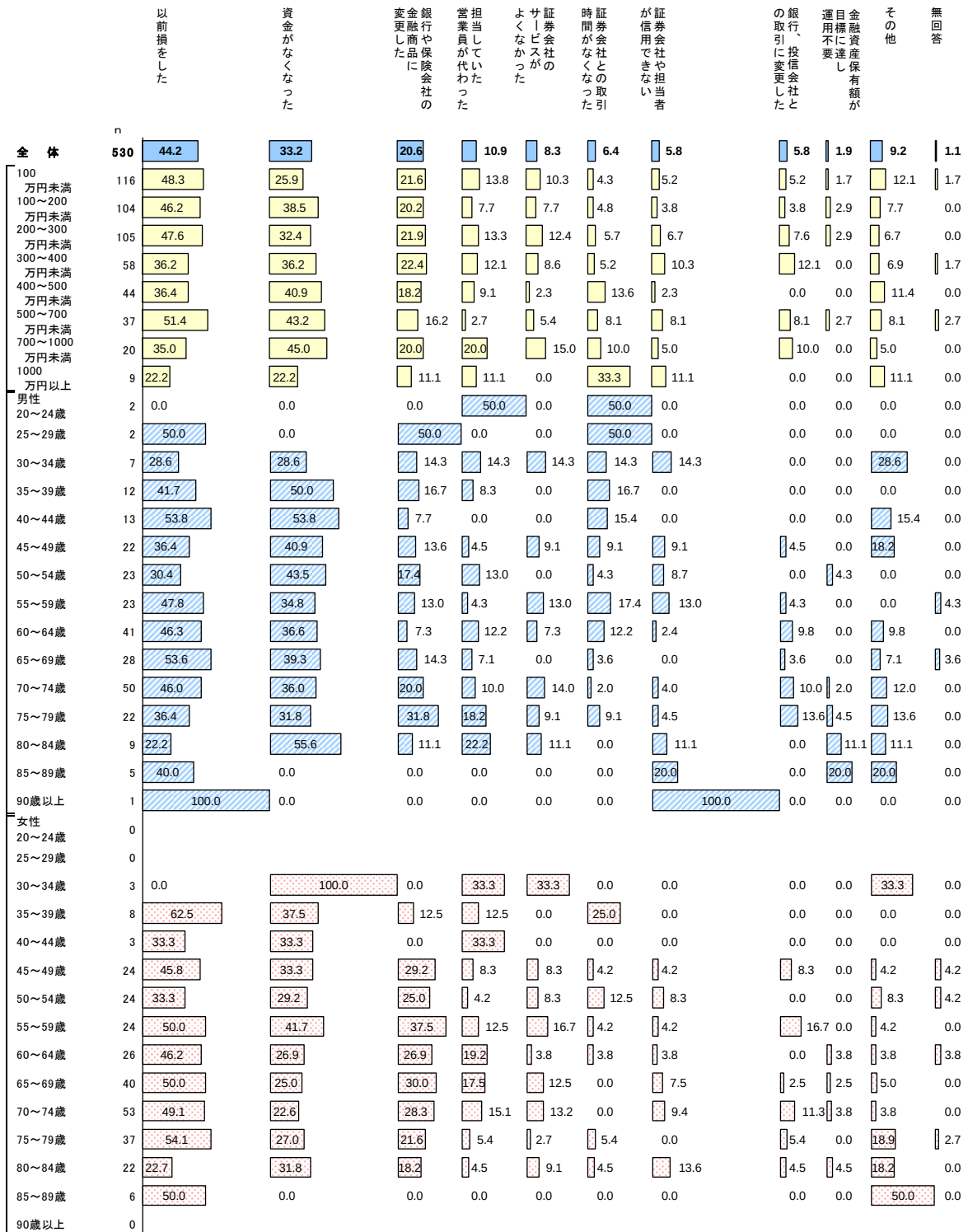


(8) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（問 31）

- 「以前取引していたが、現在は取引していない」層に対し、証券会社との取引中止の理由を尋ねたところ、「以前損をした（または期待したような利益が得られなかった）から」が44.2%で最も高い。次いで、「資金がなくなった（または現金が必要になった）から」（33.2%）、「預金や保険など銀行や保険会社の金融商品による運用に変更したから」（20.6%）が続く。

図表 4-17 【証券会社と現在取引がない人】証券会社と取引をやめた理由（複数回答）（問 31）

／年収、性・年代別

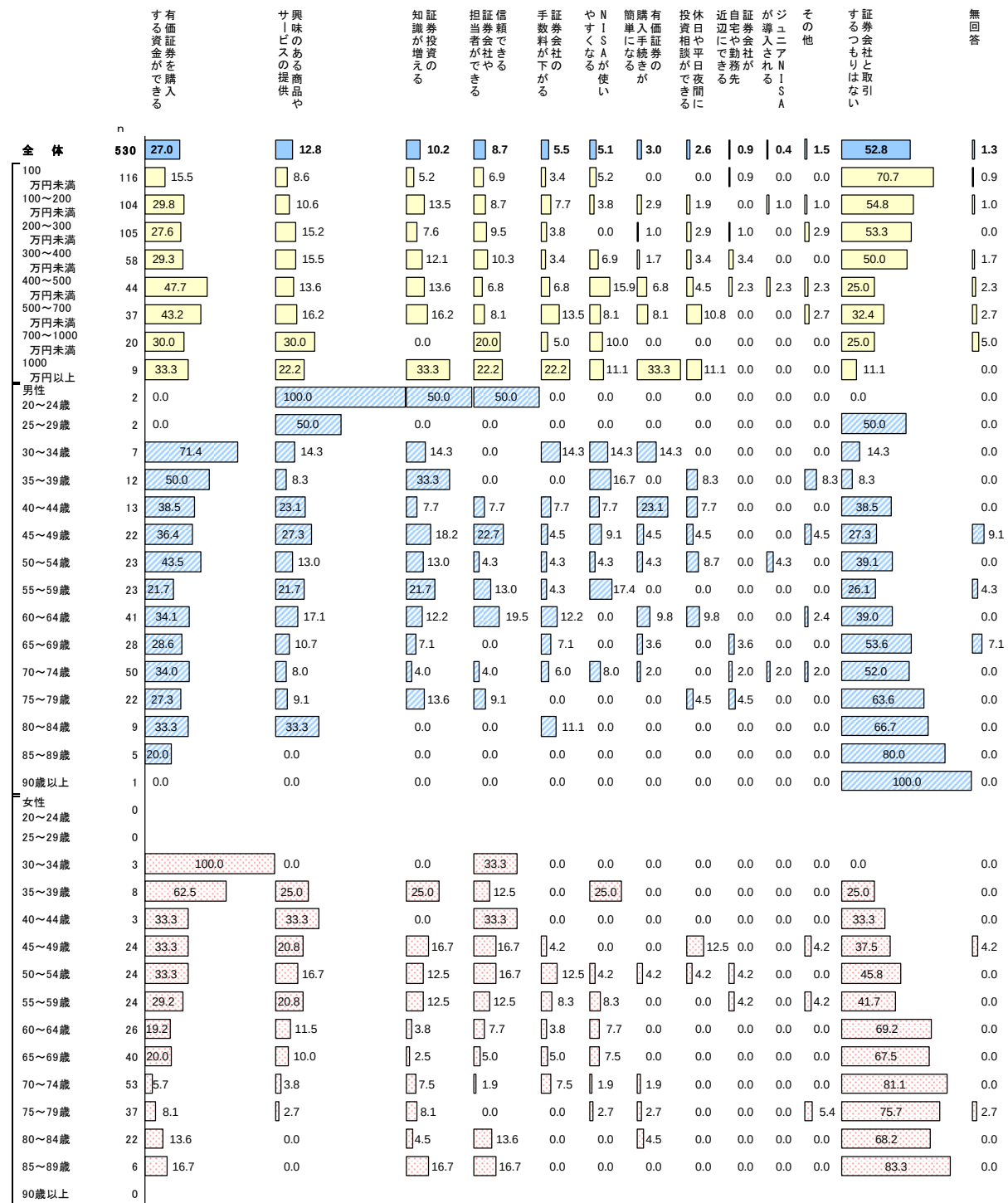


(9) 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（問 32）

- 「以前取引していたが、現在は取引していない」層に対し、証券会社との取引再開の条件を尋ねたところ、「証券会社と取引するつもりはない」が 52.8%で最も高い。次いで、「有価証券を購入する資金ができたなら」（27.0%）、「興味のある商品やサービスが提供されたら」（12.8%）、「証券投資に関する知識が増えたら」（10.2%）が続く。

図表 4-18 【証券会社と現在取引がない人】証券会社との取引再開の条件（複数回答）（問 32）

／年収、性・年代別



(10) 【証券会社と取引未経験者】証券会社との取引開始の条件（問 33）

- 証券会社との取引未経験者に証券取引開始の条件を尋ねたところ、「全く考えていない」が 70.9%で大半を占めている。それ以外では「生活に余裕ができたとき」(19.2%)、「証券投資に関する知識を習得したとき」(11.3%)が上位に挙がった。
- 性・年代別では、「全く考えていない」は男女とも高年代で割合が高い。

図表 4-19 【証券会社と取引未経験者】証券会社との取引開始の条件（複数回答）（問 33）

／年収、性・年代別

